

現代用語

197の国・地域 歴史・現在・21世紀がわかる

別冊付録

世界事典

ENCYCLOPEDIA OF CONTEMPORARY WORDS

の 基礎知識

創刊52年 since 1948

自由国民社

自由国民版 2000.1



2000年版 新設ジャンル特集



モバイルライフ

用語の解説

モバイルの基礎

▼モバイル

[mobile]

PDA(電子手帳)、コンピュータ、携帯電話など、小型で持ち運べる情報機器の利用形態、または機器そのものをさす。情報を持ち歩ける、もしくは情報機器と携帯電話や公衆電話を組み合わせていつでも移動先で情報を入手することができる。Eメール、ニュース、株式市況などの情報が得られるほか、バンキングや証券売買など、実際の取引も行えるようになってきた。コンピュータやインターネットの利用拡大を加速するものとして注目されている。機器の種類は大きく三つに分けられる。①利用者が情報を登録、編集し、それを利用するもの。通信機能はなく、

他の機器とは接続せず単独で利用するもの。比較的低価格なPDAがこれに該当する。②本体には多くの情報を格納することはできないが、通信機能を持ちインターネットなどに接続して即座に情報を得ることができもの。メール専用端末やメール機能付き携帯電話がある。③通信機能と外部記憶装置を併せ持つことにより、外部から大量の情報を登録し、また加工・編集できるもの。ノートパソコンがあげられる。

▼PHS

[personal handyphone system]

家庭用コードレス電話の設計をもとに作られた携帯型電話。一九九五(平成七)年から、NTTパーソナル(現在のNTTドコモ)、DDIポケット、アステルの三社がサービスを開始した。音質が良いほか、電波を中継する無線基地局のカバー範囲を小さく抑えているため(半径一〇〇

introduction



今日のモバイルコンピューティング

●ソニーのバイオを皮切りに超薄型ノートパソコンが多数登場し、市場のすそ野を広げるとともに、今後もさらに高機能化をたどる見込みである。それを支えるのは、CPUをはじめとする部品の小型化や、さらにはバッテリーの薄型化と長時間駆動を実現した技術である。「いつでもどこでも」持ち運びができる理想の軽量ノートパソコンが普及してきた。

●携帯電話、PHSなどに付加価値を持たせた製品が数多く登場し、Eメールの送受信が手軽にできるようになった。ニュースや天気予報など日常に必要な情報などが携帯電話向けに提供されているほか、銀行口座の残高照会や振り込みなど、モバイルバン

キングサービスも始まっている。携帯電話の液晶画面は数行の文字を表示できるだけだが、各社はその小さな画面を最大限利用した商業サービスの展開に力を注いでいる。

●PDAや携帯電話などは、情報を格納しておくための記憶容量が少ないが「いつでもどこでも」接続できるため、利用価値は高い。しかも、その価値は情報を持ち歩くことではなく、情報にアクセスできる手段を持ち歩くことにある。小さな携帯情報端末に世界規模の巨大な情報ネットワークが繋がっている。この考え方は今後も製品設計に反映され、一つのカテゴリとして発展していくと予想される。

がから五〇〇ほど、電話機の送信出力も低くなっている。そのため電話機は小型・軽量化、および省電力化が実現されている。本体の価格や通話料も携帯電話より安く、九八年六月時点の加入者台数は六五九万九〇〇

〇台にまで達した。ところがその後、携帯電話の通話料が下がったためPHSの加入者数は減る傾向にあり、九九年七月現在の加入者台数は五六九万台である。

Eメール送受信、高速データ通信、PHS端末の現在地を調べるサービスなどがある。最近では、苦手とされていた自動車などでの高速移動中の通話も改善されてきた。「ピッチ」と通称される。

浅井英二

[モバイルPC] 編集長

あさい・えいじ 1960年愛知県生まれ。早稲田大学法学部を卒業後、出版社勤務を経て、「PC WEEK 日本版」の創刊に携わる。96年に同誌編集長。99年から月刊誌「モバイルPC」編集長。麗澤大学非常勤講師も務める。

新傾向・新問題

▼ノートパソコン
画面表示に液晶を使い、ノートのよう
に二つに折りたためるパソコン。
ノートブックパソコンとも称する。
液晶ディスプレイとキーボード、本
体が一体化され、省スペースで携帯
性を重視した設計になっている。大
別してA4サイズとB5サイズがあ
り、重さは一・五キログラムから三キ
ログラム程度である。携帯性を重視して軽量化
したものと、デスクトップパソコン
並みの機能を持たせた機能重視の機
種がある。より携帯性を追求した薄
型ノートパソコンでは、厚さ二センチ、
重さ一キログラムのものもある。デスクト
ップ並みの機能性や拡張性を持たせ
た機種は、オールインワンノートパ
ソコンと呼ばれる。あらかじめ必要
なソフトウェアが多数導入されてお
り、FDドライブやCD-ROMド
ライブなどを内蔵した機種がある。
処理速度や機能はデスクトップパソ
コンと比べても遜色がないほどにな
っている。市場では出荷台数がデス
クトップパソコンに近づきつつあ
り、一九九九年平成一二年第一四半
期のパソコン出荷台数二〇三万二〇
〇〇台のうち四八％(九七万七〇〇〇
台)を占め、急激にシェアを伸ばし
つつある。

携帯電話

▼ノートパソコン
画面表示に液晶を使い、ノートのよう
に二つに折りたためるパソコン。
ノートブックパソコンとも称する。
液晶ディスプレイとキーボード、本
体が一体化され、省スペースで携帯
性を重視した設計になっている。大
別してA4サイズとB5サイズがあ
り、重さは一・五キログラムから三キ
ログラム程度である。携帯性を重視して軽量化
したものと、デスクトップパソコン
並みの機能を持たせた機能重視の機
種がある。より携帯性を追求した薄
型ノートパソコンでは、厚さ二センチ、
重さ一キログラムのものもある。デスクト
ップ並みの機能性や拡張性を持たせ
た機種は、オールインワンノートパ
ソコンと呼ばれる。あらかじめ必要
なソフトウェアが多数導入されてお
り、FDドライブやCD-ROMド
ライブなどを内蔵した機種がある。
処理速度や機能はデスクトップパソ
コンと比べても遜色がないほどにな
っている。市場では出荷台数がデス
クトップパソコンに近づきつつあ
り、一九九九年平成一二年第一四半
期のパソコン出荷台数二〇三万二〇
〇〇台のうち四八％(九七万七〇〇〇
台)を占め、急激にシェアを伸ばし
つつある。

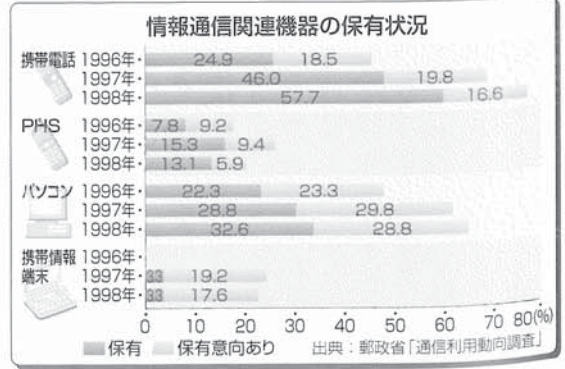
▼ハンドヘルドコンピュータ
[hand-held computer]
ビデオセットと同じか、それより
もさらに小さな携帯型コンピュー
タ。ノートパソコンと同様、液晶デ
ィスプレイとキーボード、本体が一
体化されている。ノートパソコンよ
り軽量・小型で、電力消費が少な
い。ノートパソコンとの違いとして
は、起動時間が非常に短く電源スイ
ッチを入れるとすぐに使えるOS
(ウィンドウズCEなどが搭載され
ていることなどが挙げられる。キー
ボードが小さいのを補うため、付属
のペンで画面をなぞって操作する機
種も多い。住所録、スケジューラー
などの個人情報ツールは、ほとんど
の機種にあらかじめ搭載されてい

る。さらにそれらのデータをパソコ
ンと連携して使うことも可能。パソ
コンとはケーブルを接続してデー
タをやりとりする。また、ほとんどの
機種が通信機能を備えており、一般
電話回線や携帯電話を利用して、E
メールの送受信やホームページの閲
覧ができる。内蔵している記憶容量
がノートパソコンなどと比べると小
さく、格納できるデータ量にも制限
がある。また、OSを最新のもの
と交換することが難しいか、あるいは
全くできない。ノートパソコンやデ
スクトップパソコンと併用して使
うのに適している。

▼PDA
[personal digital assistant]
手帳サイズで、個人情報を登録、編
集するための情報機器。キーボード
はなく、液晶画面に専用のペンで直
接操作する。一九九三年にアップル
コンピュータがNewtonという携帯
情報端末を発売し、次第に他のメー
カーにも広がった。当初は利用者が
情報を入力して完結し、単独で使
うものが多かったが、現在ではパソコ
ンと連携してデータの保存や編集な
どができるものがほとんどである。
一般電話回線や携帯電話を接続し
て、パソコン通信やインターネット
に接続することもできる。さらに高
機能の製品が続々と登場しており、
カラー液晶、CCDカメラが搭載さ
れているものもある。

PDAの中でも、パームトップコン
ピュータと呼ばれる機種は、利用者

▼みなし音声通信
電話のアナログ音声を使ってパソ
ンなどの機器同士がデジタルデー
タをやりとりすることをさす。最近で
は、PHSによるデジタル通信と区
別するためにみなし音声通信と称す
ることが多い。PHSでは、パソコ
ンと直結してデジタル通信が可能だ
が、モデムを使って音声で通信する
方法もある。その場合いったんデー



2000年版 新設ジャンル特集



ライフデザイン 用語の解説

西村玲子

イラストレーター/エッセイスト

にしむら・れいこ 1942年大阪生まれ。「美しく自分らしく暮らす」というテーマのもと、ファッション、インテリア、旅行についての著作を続けている。著書は「玲子さんの一日を丁寧に暮らしたい」「布が織りなす暮らし」など。

キッチンツールと テーブルウェア

▼カトラリー

[cutlery]
ナイフ、フォーク、スプーンなどテーブルで使う金属類、刃物類を総称していう。これはイギリス的な呼び方で、アメリカではシルバウェアと呼ばれる。

▼キャニスター

[canister]
ブリキ缶やガラス、プラスチック、陶器など、蓋付きの保存容器の総称。湿気を嫌うコーヒーや紅茶、食材などはしっかりと密閉するタイプのものに入れ替えておけば乾燥も防げ、キッチンまわりのアクセントにもなる。手作りのジャムを入れても。

▼トング

[tongs]

ものをはさむ道具で、料理などを取り分けるのに使う。はさむものによってシュガートング、アイストング、パスタトングなどがある。

▼コランダー

[colander]

ボウル型の水切りのこと。野菜を洗うのに使ったり、調理した食材の水を切るのに使う。ステンレスやアルミのものもあるが、中でもほうろろものは、カラフルな色使いやカントリーっぽいおしゃれなデザインが人気を得ている。

▼デミタスカップ

[demi-tasse]

食後に飲むコーヒー用の小さいカップ。フランス語で「デミ」は二分の一、「タス」はカップのこと。

▼ランチョンマット

[luncheon mat]

一人用の小さい食卓用敷物のことで、テーブルの上に敷いてナイフや

introduction



自分自身が気持ちよく暮らすための基本

●バブル期は消費大盛時代。物は作れば売れる時代だった。高価なブランド物が飛ぶように売れ、グルメ雑誌は毎回のように豪華ホテルのディナーやレストランを特集した。物質的には豊かな反面、情報が氾濫し、自分を見失い、心はかえって貧しかったかもしれない。一方、今日は物や情報は豊富だが決して無駄な物を買わない、自分に必要なものだけをセレクトする。そんな時代である。また、近年「癒し」「ヒーリング」といった言葉がよく聞かれたが、これも物より心や気持ちを重要視する表れだろう。

●最近では、インテリア家具のメーカーや生活雑貨のショップが大手の建築メーカーと組み、設計の段

階から内装や家具などのインテリアをプロデュースしている。建設前から三〇代の若い夫婦を中心に問い合わせが絶えないという。少し前の世代は資産としてマンションや家を購入していたが、若い世代には、それも自分たちが本心に納得した暮らしを手に入れるためのひとつの手段にすぎない。

●生活をデザインする。衣食住や余暇、レジャーなど、毎日の暮らしの中で本当に自分がしたいことに時間もお金も使う。そんな当たり前のことが今見直されている。何が自分らしいかが、何をするにも基本にある。そんな気持ちの良い暮らしのためのキーワードを集めた。

フォーク、皿などを置く。テーブルの上をおしゃれに、しかも料理をおいしそうに見せてくれる小道具。ランチョンとはもともとランチより格式のある人を招待するような昼食のこと。

▼アピルコ

[apilco]

フランスの代表的な業務用食器メーカー。プロ仕様ならではの丈夫で厚みのある、フランスらしいシンプルでデザインが特徴。

▼デュラレックス

[duralex]

フランスのガラスメーカー、サンゴバン社が一九三九年に作り始めた業務用グラスで、今やどの雑貨ショップでも扱っているところでも過言ではない。

新 傾 向 ・ 新 問 題

ない定番中の定番アイテム。カフェのウォータータンブラーにも実によく使われている。

▼**ウィリアムズ・ソノマ**
[williams sonoma]
調理器具とキッチン雑貨の専門店。一九五六年、アメリカ・カリフォルニア州ソノマの金物屋チャック・ウィリアムズ氏が設立した。日本では東急百貨店の各店にコーナーがあつ

主なハーブ&スパイスの特徴と料理法

▼**ローズマリー** [rosemary]
しょうゆに似たスーッとした香りのシソ科のハーブ。ラムやチキンを使った料理やマリネやローズト、煮込み料理に使われる。他にも、肌を若返らせる効果と強い収れん作用があるので、化粧水などにも使われている。

▼**セージ** [sage]
シャープでくっきりとした香りのシソ科のハーブ。強い風味で肉類の脂肪分を中和させる働きがある。ソーセージに使われ、名前はこのセージからきている。

▼**タイム** [thyme]
さわやかな香りとほろ苦さのあるシソ科のハーブ。生(フレッシュハーブ)よりも乾燥(ドライハーブ)の方が香りが強い。ブイヤベースやポトフなどの煮込み料理や肉・魚介・野菜料理の隠し味になる。

▼**オレガノ** [oregano]
コショウに似たシソ科のハーブ。トマトと相性がよく、ピッツァなどイタリア料理によく使われる。

▼**レモングラス** [lemon grass]
ススキに似た形のイネ科のハーブ。強いレモンの香りとさっぱりとした酸味がある。魚の臭み消しやハーブティーにもよく使われる。

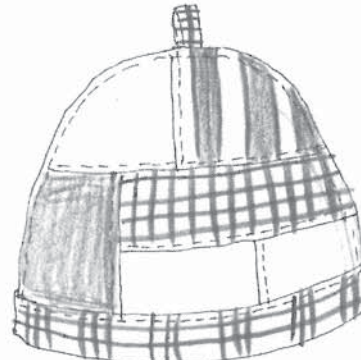
▼**デイル** [dill]
スパイシーなグリーン系の香りのセリ科のスパイス。ポテトサラダやピクルスに入れると引き立つ。

▼**クローブ** [clove]
強烈な香りと辛みで肉や内臓の臭みを消すスパイス。人参や玉葱に刺して料理に使う。

▼**コリアンダー** [coriander]
セリ科のハーブ&スパイス。刺激性の青い香りがする。種は刻んでソーセージ、カレー、アップルパイなどに。葉や茎はスープやシチューの香り付けに。

たが九九年一月で本国との契約が切れ、国内で手に入れることが不可能になった。

▼**ティールコジー**
[tea cozy]
ハイティール



別名「茶帽子」と言われているもので、その名のとおりにティーポットにかぶせ紅茶が冷めないように保温のために使用する。冬など室温が低いときや戸外でお茶を楽しむときも、ティーポットにかぶせておけば、おかわりの紅茶がおいしくいただける。

料理やハーブ、お茶のこと

▼**ハイティール**
[high tea]

イギリスのティータイムのひとつ。もともとは、イギリスの工場地帯や農村部やスコットランドで、午後六時頃仕事を終えた男性や子供たちが、肉中心の献立に紅茶を飲む習慣

のことだった。現在では、夕方コンサートや観劇に出かける前に軽食を兼ねてとるお茶の時間のことをいうことが多い。ティーパーティーでのハイティールは、何百人ものお客を招待してのレセプション風の正式なものさし、開かれるのは午後六時以降。一方、休日の午後三時すぎに一般家庭の婦人たちが社交目的で開くお茶会はアフタヌーンティーと呼ばれる。

▼**ハーブティール**
[herbs tea]

ハーブに熱湯を注ぎ色や香りを浸出させたもの。コヒーや紅茶のようにカフェインを含まないので就寝前でも楽しめる。

▼**デリカテッセン**
[delicatessen]

ハム、ソーセージ、缶詰など調理済みの食品や、サラダや惣菜を販売している店。またはそれらの食品をいうこともある。以前は料理の手抜きという印象が強かったが、百貨店の地下食品売場で人気のレストランや高級ホテルのメニューが一〇〇グラム位で手軽に味わうことができたり、デリカテッセンのケータリング(宅配)サービスもあり、食卓を華やかにするために上手に利用する人が増えている。最近では、デリカテッセンを持ち帰らずにその場で食べることもできる店もある。

▼**レシピ**
[recipe]

料理の指示書としての機能を持った

献立表のこと。料理ごとに使用する食材や調味料などと、それらの分量や調理法、さらには料理の由来上がりの形態や量、盛りつけ方なども記入されている。同じメニューでもこのレシピによって微妙に味が違って

▼**ブーケガルニ**
[bouquet garni]

フランス語で「香りの束」の意。数種類のハーブやスパイスを一つに束ねたものをこう呼ぶ。長ネギの緑部分、パセリの茎、セロリの葉、タイム、ローリエ(月桂樹の葉)を基本とする。煮込み料理に入れて風味付けに用いる。

▼**ハーブ&スパイス**
[herb&spice]

香りや味が良くて料理や香料に、また薬用として使われる草花や木のこ。料理では葉や花を利用する場合をハーブ、実や種、枝を利用する場合をスパイスというのが一般的である。代表的なハーブ&スパイスとどんな料理に合うかは上記参照。

ガーデニングアイテム

▼**オルビス**
[arbours]

つる性のグリーンや花をからませるためのワイヤーでできた芯のことをさす。実用的なシンプルなものもちらんツリーや鳥の形、球型になったものなどいろいろある。

ジャーナリズム

用語の解説

浅野健一

同志社大学教授



あさの・けんいち 1948年香川県生まれ。慶応義塾大学経済学部卒。共同通信社社会部・外信部・ジャカルタ支局長等を経て、同志社大学文学部教授。著書は「犯罪報道の犯罪」「マスコミ報道の犯罪」「天皇の記者たち」など。

introduction

国家主義化に無力な報道機関

●「通信傍受法が今日成立」。一九九九平成一一二年八月二日の朝日新聞の一面トップの凸版見出しである。「通信傍受法が成立」。これは二日後の二三日の朝日の一面準トップ記事で、この日のトップは「改正住民基本台帳法も成立」だった。

●日本の新聞やテレビはガイドライン関連法、国旗国歌法、憲法調査会設置などについても、「〇〇日に成立する」と予言していた。これではまるで官報、占い師である。なぜ盗聴法と書かないのか。反対党を揶揄することには熱心だが、市民とともに闘う姿勢はなかった。公明党の突然の変節にも切り込んだ報道は少なかった。この指摘が間違っていると

いうなら、社説などで一連の法案を批判してきたメディアは、これらの悪法を廃止するようにキャンペーンを開始してほしい。

●その一方で、一般刑事事件報道はますますひどくなり、逮捕段階で社会的に抹殺することがふつうになった。活字メディア界に、報道評議会やプレスオンブズマンを設置するなどの努力は見られない。

●国民が最も知りたいことを取材せず、伝えようともしないこの国のジャーナリズムは「戦前」に酷似してきた。メディア関係者の不祥事続発は、メディア労働現場の仕事の内容が非人間的であることを示している。メディアの病気は悪化を続けている。

報道をめぐる最近の事例

▼所沢ダイオキシン報道

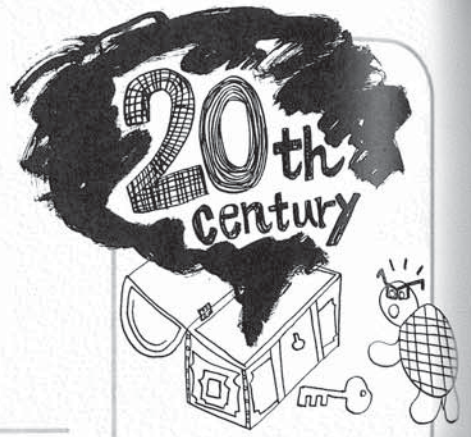
一九九九(平成一一)年二月一日のテレビ朝日「ニュースステーション」で、「所沢ダイオキシン 農作物は安全か」と題した特集で、民間の環境総合研究所のデータとして、所沢産ホウレンソウなど野菜のダイオキシン濃度を「一グラム当たり〇・六四一三・八〇ピコグラム(ピコは一兆分の一)」と報道した。キャスターの久米宏が番組に出た同研究所の所長とのやりとりで、「葉っぱもの」を「ホウレンソウ」など「葉もの野菜」と受け取られるように繰り返し表現した。埼玉県が二月一八日、テレビ朝日報道の元になった研究所データを公

表、最高濃度の三・八〇ピコグラムの数値を示したのは煎茶で、ホウレンソウなどの野菜は最高でも〇・七五ピコグラムだったことが判明した。久米は同日夜の番組で、報道の仕方に関わったことを認めて謝罪。テレビ朝日の伊藤邦男社長は三月一日の衆議院通信委員会で参考人として招致され、「図表の示し方など表現や説明が不十分、拙速だった」と認めた。JA所沢市が三月一日、テレビ朝日に放送法四条に基づく訂正放送を請求したが、テレビ朝日は三月二六日、「訂正放送には当たらない」と回答した。野田聖子郵政相は六月二一日、伊藤社長を郵政省に呼び、「放送法の趣旨に照らして遺憾な点があった」として「嚴重注意」の行政指導をした。郵政相名での嚴重注意は、九四年のテレビ朝日報道局長発

言問題・中国臓器移植報道、九六年のオウム報道(TBS)以来。所沢市内の農家ら三七六人が九月二日、テレビ朝日などを相手どり、訂正放送と約二億円の損害賠償を求め訴訟を浦和地裁に起こした。テレビ朝日は、何度もダイオキシン問題を取り上げてきた。そもそも自治体が調べようともせず、JA所沢がデータを隠していたのが最大の問題。ダイオキシン報道をめぐって、他のメディアがテレビ朝日報道の一部の誤りを強調して報道全体を否定するようなバッシングをしたのは、調査報道の強化のために大きなマイナスだった。

▼脳死臓器移植報道

脳死臓器移植法が施行されて初めての脳死移植が一九九九(平成一一)年二月二八日、高知赤十字病院で行わ



特設ギャラリー

流行語がつくった20世紀

日本の100年を17の流行語で振り返る

illustration / Mariko Abe

明治・大正

【いわく不可解】1903

日光・華厳の滝に投身自殺していた一高生（藤村操、18歳）が、滝の上の大樹を削って「巖頭之感」を書き込んでいた。その中の「人生いわく不可解」の言葉が同世代の青年に大きなショックを与え、後を追うように自殺者が続出した。

小野トモコ「二百三高地」



【二百三高地】1904

当時、流行したヘア・スタイルの名前。明治37年、ロシア軍のいる旅順への総攻撃は失敗続きだったが、港を見下ろせる二百三高地に焦点を定めた第三回目の総攻撃が成功し、占領が実現。国内では、頭上に高い髷を結って、前髪を大きく張り出す「二百三高地」という髪型が大流行。和装にも洋装にもマッチしたため、日露戦争後も流行り続けた。

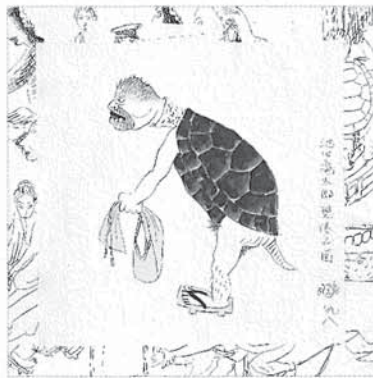
【天気晴朗なれど】1905

明治38年、日本海海戦でバルチック艦隊と相まみえたときの連合艦隊のゼット旗信号の合い言葉（本日、天気晴朗なれど波高し）が流行語となつてよく使われた。

【出歯亀】1908

明治41年3月東京府下西大久保で女性の絞殺体が発見された。容疑者・池田亀太郎が犯行を自供。のぞきの常習者だった彼が出歯だったため、弁護人が法廷で「出歯亀」と呼んだ

下谷二助「出歯亀」



【ハイカラ】1909

ことをきつかけに、以後、のぞきの常習者や変質者が出歯亀と呼ばれるようになった。
明治もこの頃になると、江戸時代には家の外にあった娯楽と教養が生活の中に入り、庶民の生活に余裕が生まれてきた。そんな生活を送っていた者が洋風の襟の高いワイシャツを着ていた「ハイ・カラー」が転じて「ハイカラ」という言葉が生まれた。明治42年には「ハイカラ節」も流行している。これに対し、国粋的・保守

的・壮士的な人を「パンカラ」と呼ぶ。

【元始女性は太陽であった】1911

平塚らいてうを中心に、自我の確立を求める中産階級の女性による女流文芸雑誌「青鞥」の創刊宣言にある文句。誌名「青鞥」は18世紀のロンドンで目覚めた女性集団「ブルーストッキング」に由来する。

メグ・ホソキ「カチューシャの唄」



【カチューシャ】1914

大正3年、トルストイ作・島村抱月脚色の「復活」が帝国劇場で上演された。

【デモクラシー】1916

大正5年、吉野作造は雑誌に民本主義論を提示した。吉野は、政治の目的は一般大衆の福利にあること、政策の決定は一般大衆の意向によることを主張し、それは明治時代の「御維新」に対する「大正デモクラシー」の理論的支柱となった。

【平民宰相】1918

「平民」は「士・農・工・商」の士族以外を総称したものの。寺内内閣のあと、政友会総裁の原敬内閣が誕生。憲政史上初の爵位を持たない首相であることから「平民宰相」として、国民の期待が高まった。

【サボる】1919

大正8年9月、神戸川崎造船所の争

現代用語の基礎知識 2000

風俗・流行

議で初めてサボタージュ（フランス語）作戦が採用され、質上げに成功した。これ以後「サボ」へ「サボる」が日常語になって行く。

秋山 孝「相対性理論」



【相対性】 1922

ドイツの物理学者アインシュタインが来日し、各地で講演を行った。相対性理論がブームとなり「相対性」という形容詞も流行した。当時の新聞には「理屈はわからねどまったく酔わされた。ちょうどアインシュタイン氏の催眠術にでもかかったように」と。

【文化住宅】 1922

大正11年、平和記念東京博覧会が開催され、居間を中心とした椅子式の生活、個室、ガラス窓、赤い屋根といった洋風の「文化住宅」が注目を集めた。大正末から昭和初めにかけ「文化生活」「文化アパートメント」「文化鍋」など、「文化○○」という造語が大流行した。

【この際だから】 1924

前年の関東大震災で、被害を受けた人たちが復興を目ざして立ちあがったときの合い言葉が「この際だから……」。これが流行語になって行く。

【円タク】 1926

大阪から始まった、市内どこまで行っても1円均一のタクシーが、大正15年春には東京にも進出した。またこの年、「現代日本文学全集」が1巻1円で売り出されて大当たりをとった。円タクに対して、円本である。

昭和

水田秀穂「モボ・モガ」



【モボ・モガ】 1927

「モダンボーイ」「モダンガール」を略して「モボ」「モガ」。大正14年ごろから使われ始め、とかく話題を提供した。モガはモダン＝毛断とばか

りに、短い髪に帽子、モボはシャツにネクタイ、山高帽子にロイド眼鏡にラップズボンというスタイルで町を闊歩した。

【緊縮】 1929

このころの日本経済は輸出不振・輸入増で国際収支の悪化を招いていた。井上蔵相は緊縮財政、産業合理化を推進し、浜口首相もラジオを通じて不況克服のための消費節約、貯蓄奨励を切々と全国民に訴え、「節約」「緊縮」が流行り言葉になった。

【男子の本懐】 1930

特急つばめに乗り込もうとしていた浜口雄幸首相は、右翼団体の男に狙撃され、大手術の結果一命をとりとめた。その時、首相が「男子の本懐！」と叫んだというので、これが流行語となった。

【エロ・グロ】 1930

不景気の中で退廃した世相は、ヘエロ・グロ・ナンセンスを求める風潮を醸し出し、猟奇やエロを売り物にする雑誌や単行本が次々と発刊され、過激なカフェやダンスホールが繁盛。

【銀ブラ】 1930

大震災から復興した東京銀座の舗道には柳が植えられ、松屋、松坂屋、三越のデパート、カフェーやバーが立ち並んだ。銀座を散歩することが若い女性たちの憧れとなり、銀座を散歩することが「銀ブラ」と呼ばれた。

和田 誠「酒は泪か溜息か」



【トーカー】 1931

昭和6年、邦画で初のトーカー（発声）映画が封切られた。田中絹代が主演した「マダムと女房」である。一方、映画「想ひ出多き女」の主題歌で古賀政男が作曲した「酒は泪か溜息か」も100万枚を超える大ヒットとなった。

【話せばわかる】 1932

昭和7年5月15日、海軍青年将校陸軍士官候補生らが首相官邸に乱入し、犬養毅首相を射殺した。その時、犬養毅は乱入してきた将校らを「話せばわかる」と迎えたが、別の一隊が「問答無用」と射殺。襲撃者たちは東京を混乱に陥れて、軍部政権を樹立しようと決起したものであった。

【今からでも遅くない】 1936

昭和11年2月26日、皇道派青年将校が兵士1400人を率いたクーデターを決行。首相官邸、蔵相官邸をは

じめ官私邸、警視庁などの官庁、新聞社などを襲撃し、官公庁街を占拠した。しかし戒厳令がしかれ、反乱軍は包囲される。29日、戒厳司令部は「兵に告ぐ今からでも遅くない」と復帰を促した。

【拳国一致】 1937

日中戦争が勃発。国民の戦争協力を求めるため、8月、政府はスローガンを「拳国一致」「尽忠報国」「堅忍持久」とする「国民精神総動員要綱」を定め、9月に国民精神総動員運動を開始した。政府や軍は日中戦争を戦争といわずに「事変」と呼び続けたが、戦時に設けられることになっていた「大本営」が宮中に設置された。

【馬鹿は死ななきや】 1937

ラジオで、広沢虎造の浪花節「次郎長外伝」が大人気となった。その中のセリフ「飲みねえ飲みねえ、スシ食いねえ」「馬鹿は死ななきやおらんない」が流行。

【父よ あなたは強かった】 1939

朝日新聞が、皇軍将士に感謝する歌を募集したところ、主婦作品が入選。この「父よあなたは強かった」は半年間で40万枚を売り上げた。

【生めよ殖やせよ】 1939

厚生省が発表した「結婚10訓」に、兵力増強のために「生めよ殖やせよ」が挙げられた。翌年には、10人以上

の子供をもつ親が「優良子宝隊」として表彰された。

【パーマネットは やめましょう】 1939

国民精神総動員委員会は生活刷新案を発表。「早起励行」「報恩感謝」「節約貯蓄」などを内容とし、中元・歳暮、パーマネットの廃止、朝風呂などが取締りされた。パーマの女性を通行禁止とする町内会が出るなど、国民生活は一段と窮屈になっていく。

【ぜいたくは敵】 1940

生活必需品を確保するために、「奢侈品等製造販売制限規則」が昭和15年7月7日に施行された。製造販売が禁止されたのは、宝石類、アクセサリー、染・織絵羽模様うちかけ地など。これはやがて「ぜいたくは敵だ!」という厳しいスローガン口調のものになり、国民的標語となっていく。

【八紘一宇】 1941

「八紘」とは四方と四隅、八方の非常に遠い果てを意味し、「一宇」は一つの家のことで、「八紘一宇」で世界を一つの家にするという意味になる。前年近衛内閣が発表した基本国策要綱でこの言葉がスローガンに使われて広まる。

【トラトラトラ】 1941

昭和16年12月8日、日本軍はハワイ真珠湾を奇襲攻撃。太平洋艦隊の戦艦8隻、巡洋艦3隻に損傷をあたえ、

ここに太平洋戦争が始まった。奇襲作戦開始の暗号が「ニイタカヤマノボレ1208」、成功を伝える暗号が「トラトラトラ」だった。

【少国民】 1941

小学校が昭和16年4月から「国民学校」と改称され、初等科6年、高等科2年の義務教育8年制が採用された。国民学校の第一の目標は「皇国民の錬成」とされ、児童を「少国民」と呼ぶことになり、学校生活すべてが「錬成」の名のもとに管理された。

峰岸 達「国民学校」



【御同慶の至り】 1942

太平洋戦争開戦からわずか4カ月でマニラ、シンガポール、ジャカルタ、ラングーン、ニューギニアなど西太平洋、東南アジアの諸地域の大半を占領した日本軍の進撃は目覚ましかった。東条英機は「皇軍は各地に転戦、連戦連勝、まことに御同慶の至りであります」とラジオで語り、国民も、戦勝ムードに湧いた。

【月月火水木金】 1942

休日がない1週間。海軍では日曜もない猛訓練が伝統で「月月火水木金金」は海軍の標語だった。戦争が激しくなると、休日返上は軍隊ばかりでなく、軍需工場、官公庁、一般にも広がって行った。

【欲しがりません 勝つまでは】 1942

大東亜戦争開戦1周年を記念して募集された「国民決意の標語」で当選した標語。物不足を乗り越えるスローガンとして、あらゆるところで叫ばれた。

【玉砕】 1943

昭和18年5月、大本営は、アッツ島およびキスカ島を放棄することを決定。山崎大佐率いる150名の兵士は「英魂とともに突撃せん」と最後の攻撃を敢行し、玉砕した。以後、南の島々で多数の玉砕が繰り返されることになる。

【堪え難きを堪え、 忍び難きを忍び】 1945

敗戦を伝えた8月15日正午の天皇による玉音放送。天皇が国民に向かって肉声を放送するというのは前例のないことであった。ラジオは雑音が多く、言葉が切れぎれに聞こえてきた。終戦という用語はなく、無条件降伏という実感がすぐにはわかなかった。

【二億総懺悔】 1945

敗戦処理にあたった宮内閣の東久邇首相は、昭和20年8月28日に記者会見で「国民はことごとく反省しなければならぬ」と発言、これを受けて「敗戦の責任は国民ひとしく負わねばならぬ」と報道された。

【戦後】 1946

昭和が平成に代わっても、なお「戦後〇年」というように使われ続ける半永久的生命を持つ言葉。フランス語の「ヘアプレゲール」から来る「ヘアプレ」という言葉も流行。大戦後のそれまでの価値観にとらわれない無軌道な戦後世代の呼び名にもなった。

【あ、そう】 1946

「神話と伝説とによりて生ぜるものに非ず」。昭和21年1月1日、天皇は年頭の勅語で、自ら神格を否定し人間宣言を行った。マッカーサー元帥は満足の意を表明。2月19日から全国各地に「巡幸」に出かけ、民生視察をした天皇が各地で人々に話しかけた際に連発した「あ、そう」はこの年の流行語に。

【額縁ショー】 1947

ストリップショーの始まりは、昭和22年1月15日、東京新宿の帝都座で行われた「名画アルバム」という催しだった。これは、西洋名画を模した額ぶちの中に上半身ヌードの美女を立たせるというもので、動けば風俗壊乱になるため、モデルが身動きしなかったことから、額縁ショーと呼ばれた。

呼ばれた。 中村幸子「額ブチショー」



【ベビーブーム】 1947

戦争に狩り出されていた男たちがほとんど復員して、盛んに子どもをつくりだしたのが昭和22年から49年にかけての3年間だった。混乱期が続くなか、この3年間は毎年260万人から270万人もの赤ちゃんが誕生。この世代を堺屋太一は後に「団塊の世代」と名づけた。

【ノルマ】 1948

ロシア語で、敗戦後、ソ連から引き揚げてきた人々の口から、タワリリシチ(同志)など耳なれないロシア語が飛び出し、抑留中の強制労働にノルマが課せられていたという実態が語られ、流行語になった。

【斜陽族】 1948

戦後、没落した上流階級を意味する。太宰治の小説「斜陽」(昭和22年刊)を語源とするこの言葉が有名になっ

たのは翌年6月に太宰が愛人と入水自殺をした後である。「太陽族」「みゆき族」等のちに登場する「**族」の元祖となった。

【ワンマン】 1949

昭和24年1月の総選挙で、民主自由党は圧勝、第3次吉田内閣が成立し、以後6年間にわたり長期政権の幕開けとなった。貴族趣味の白たび、イギリス人気どりの葉巻まで、政治を午耳った吉田茂を、人々はワンマンとかへ白たびなどと呼んだ。

【自転車操業】 1949

GHQの経済顧問・ドッジの行った財政政策（ドッジライン）で恐慌をきたした中小企業は、とにかく事業を続けていくため、原価を割る注文にも応じなければならなかった。生産を止めれば企業が倒産するので、赤字覚悟で工場稼働する。この状態を、止まれば倒れる自転車に例えたのがこの言葉。

【貧乏人は麦を食べ】 1950

昭和25年の3月、池田勇人蔵相は記者会見で「中小企業の倒産や税金苦の自殺者が出てやむをえない」と発言し、衆議院に不信任案が上程された。さらに12月、蔵相は米価問題で「日本人は皆同じものを食べているが、所得の多いものはコメ、所得の少ないものは麦本位」といいたい」と発言。貧乏人は麦を食べと言わんばかりの暴言に非難が続出した。

ささめやゆき「G-I列り」



【老兵は死なず】 1951

朝鮮戦争の米兵たちの間で流行した頭の刈り方「G-I刈り」が日本の若者たちの間でも大流行した。昭和26年4月、連合国最高司令官マッカーサー元帥は突然その任を解かれた。日本の占領政策を牛耳って、「鬼より怖いマッカーサー元帥」と恐れられたが、一方では戦後復興の恩人として敬愛され、離日に際しては、羽田空港までの沿道に20万人の見送り人が別れを惜しんだ。元帥は「老兵は死なず、ただ消え去るのみ」との名セリフを残した。

【ノーコメント】 1951

「何も言うことはない」という意味の英語。昭和26年9月、対日講和会議出席のためサンフランシスコに着したグルームイコソ連首席全権が、記者団から浴びせられた質問の矢に對して、「ノーコメント」一点張りであり押し通して流行した。

【社用族】 1951

会社や役所の車を乗り回し、高級料亭で宴会をしたり、すべて社用・公用と称してさまざまな恩恵にあずかる会社員や役人（公用族）のこと。

【エッチ】 1952

変態（Heitai）のことを女子学生たちが隠語でH（その頭文字）と言っていたのが起源。舟橋聖一が小説の中で採りあげたのをきっかけに一般人の間でも流行語となり、その後も長きにわたって使われる。

【君の名は】 1952

NHKラジオで放送された「君の名は」。春樹と真知子のすれ違いが女性の心をとらえて大ヒットし、放送時間中は銭湯の女湯がガラ空きになるといふ伝説が生まれた。シヨールを頭から首に巻く真知子スタイルが流行した。

【むちゃくちゃでござりますがな】 1953

エンタツと組んで戦前の漫才界をリードしていた花菱アチャコがラジオドラマで人々を笑わせたセリフ「そんな、あんな、むちゃくちゃでござりますがな……」が大流行。

【ロマンス・グレー】 1954

白髪のみまじり出した中年男性の魅力をいう。この年、飯沢匡の同名の小説から流行語となった。和製英語。

【三種の神器】 1955

昭和30年に発売された噴流式電気洗濯機がヒット、家庭電化時代が到来した。電気冷蔵庫、電気洗濯機、テレビは三種の神器といわれ、主婦のあこがれとなった。

【もはや戦後ではない】 1956

昭和31年7月の「経済白書」は、戦後の経済復興にピリオドが打たれたと発表。「戦後の一時期に比べればその欲望の熾烈さは明らかに減少した。もはや戦後ではない」と言い切った。白書の執筆者、後藤登之助はキャッチフレーズのうまさでは定評があった。藤枝リュウジ「太陽の季節」



【太陽族】 1956

芥川賞を受賞した石原慎太郎の小説「太陽の季節」から生まれた言葉で、無軌道や不道徳な連中を指す。「太陽の季節」「狂った果実」など二連の太陽族映画に対しては、婦人団体やPTAが上映制限運動を起こした。

【一億総白痴化】 1956

「一億総懺悔」をもじった大宅壮一による造語。昭和28年開局したテレビは、飛躍的な普及を見せた。当然テレビの青少年をはじめ社会に対する影響が問題にされ、番組の低俗さが批判の対象となった。

【才女】 1957

曾野綾子、有吉佐和子、原田康子、山崎豊子ら若い女性作家が文壇のなかで大きな比重を占めるようになった現象をへ才女時代」と臼井吉見が名付けた。

【清潔で誠実】 1958

皇太子妃に決定した日の記者会見で皇太子の印象についての質問に正田美智子さんは「清潔で誠実で」と答えられたところから、これが流行語になった。

【私の選んだ人】 1959

昭和天皇の第五皇女、清宮貴子内親王が、20歳の誕生日に記者会見し、ウィットにあふれた応対が好評だった。結婚については「私の選んだ人を見ていただきます」と軽くかわし、以来これが流行語となった。

【タフガイ】 1959

疲れを知らぬ男「タフガイ」として登場した俳優・石原裕次郎が大人気。続いてダイナマイトのような男という意味の「マイトガイ」（小林旭）

長は自信たっぷり。その他の野党の声は及ばなかった。3党の協力で国の基本政策が実現したことで「自自公」はより現実的に。一方、中国などからは日本の守備範囲の拡大について強い警戒感と反発の声が挙がっている。

一はプロの打者にも十分通用した。一六勝五敗、防御率二・六〇は見事な成績だ。五輪アジア予選にも出場し、台湾を一点に抑える好投で日本の五輪出場に貢献した。敗戦したゲームの後に語ったリベンジは流行語にもなった。あどけない笑顔を見せる怪物である。

▼王貞治(おう・さだはる)

国民栄誉賞(第一回、一九七七年)受賞者をいまだここに加えるのは気が引けるが、今年プロ野球パリーグ福岡ダイエーホークスの監督として初のリーグ優勝に輝いた(ホークスは南海時代から二六年ぶり)。四〇年東京生まれ。早稲田実業で投手として活躍、五九年巨人軍に入った後、一塁手に。大記録は数知れず。

七七年に通算七五六本目の本塁打を打ち、ハンク・アーロンの世界記録を破った。独特の一本足打法によって放った本塁打は通算八六八本。しかし不世出の大打者も監督としてはもうひとつだった。八七年に巨人軍監督としてリーグ優勝したものの翌年解任される。九五年ダイエー監督になってからも低迷が続いた。オフにはサイン盗疑惑や脱税事件で揺れただけに監督五年目でのリーグ優勝の喜びはひとしおだろう。

▼中谷巖(なかたに・いわお)

ソニー取締役兼多摩大学教授兼三和総研顧問兼読売新聞調査研究本部研究員などなど。ソニーは「社外」、三和総研は「非常勤」、読売は「客員」。ともかく八面六臂で活躍中の

経済学者である。一九四二年大阪市生まれ。一橋大学経済学部卒業後、企業に勤めたが辞めてハーバード大学大学院に留学。大阪大学教授から一橋大学教授。今年三月末にソニーの社外取締役に内定したが、人事院が国立大学教授の「二足のわらじ」を認めず、六月一橋大を辞職してソニーに行った。かたは中谷の「負け」だが、今後への大きな問題提起になった。九月、二〇近い私大のオファーから多摩大学を選んで教授になった。わかりやすさを追求した著書「痛快！経済学」もよく売れた。

▼宇多田ヒカル(うただ・ひかる)

初アルバム予想をはるかに超える大ヒットで「宇多田ヒカル現象」といった言葉まで生んだシンガー・ソ

ングライター。一九八三年かつての人気歌手藤圭子とミュージシャン宇多田照美との間でニューヨークに生まれる。一〇歳で英語で作詞作曲を始めた。九八年一二月に歌手デビュー。今年三月に発売した初アルバム「First Love」は二カ月で五二四万枚に達し、CD売り上げ日本記録になった。九月には八〇〇万枚を超えた。抜群の音楽性とネイティブの英語力に加え「あの藤圭子の娘」という話題性が大ヒットの要因か。テレビなどマスコミへの露出を管理した戦略も「神話性」を高めた。

▼藤原紀香(ふじわら・のりか)

平成随一の「フェモロン女優」。つまり「女つぼさ」をまき散らして男たちを幻惑する魅力に満ち満ちてい

▼乙武洋匡(おとたけ・ひろただ)

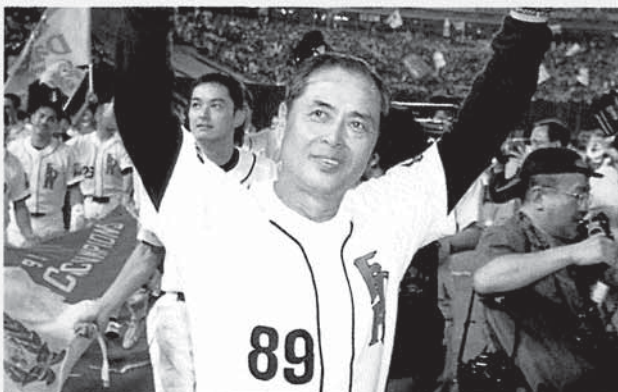
一九九八年一〇月に発売された著書「五体不満足」(講談社刊)が三九〇万部の大ベストセラーになった。七



▶石原慎太郎



▶松坂大輔



▶王貞治



▶宇多田ヒカル

1999年の顔



▶藤原紀香